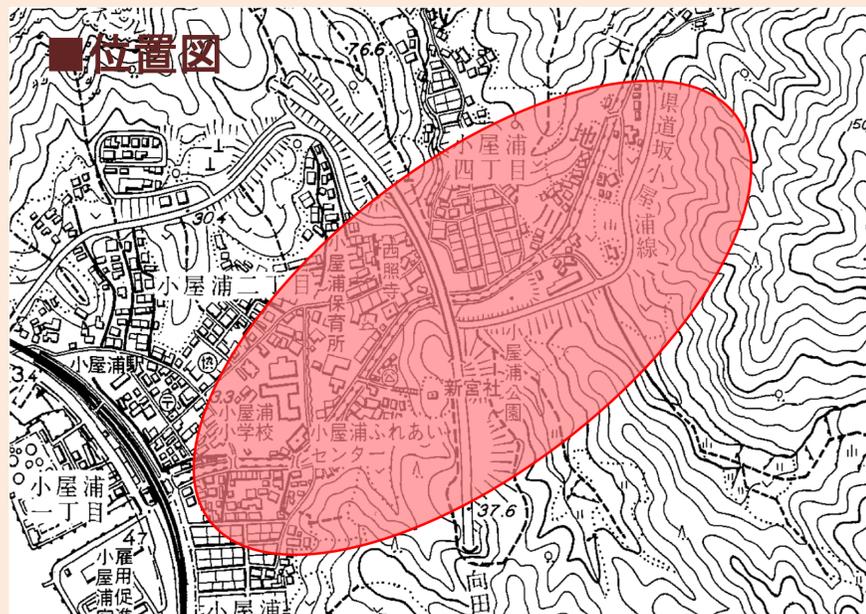


地域の砂防情報アーカイブ

坂町の登録情報

【明治40年 天地川での災害状況】



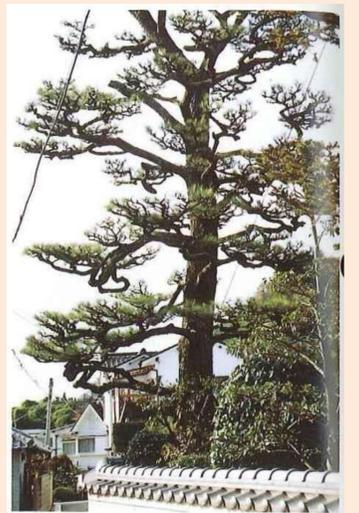
明治40年 小屋浦の被害状況(中央左に二本松)
提供:「ふる里の碑」より引用

■概要

明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川、総頭川等で災害が発生し、多くの人命と家屋、田畑が失われた未曾有の大災害となりました。これらの写真は天地川流域の小屋浦での被害の様子と、この災害に耐えた二本松です。この二本松のうち一本は昭和59年松食い虫の被害により枯れて、現在は1本が残っています。



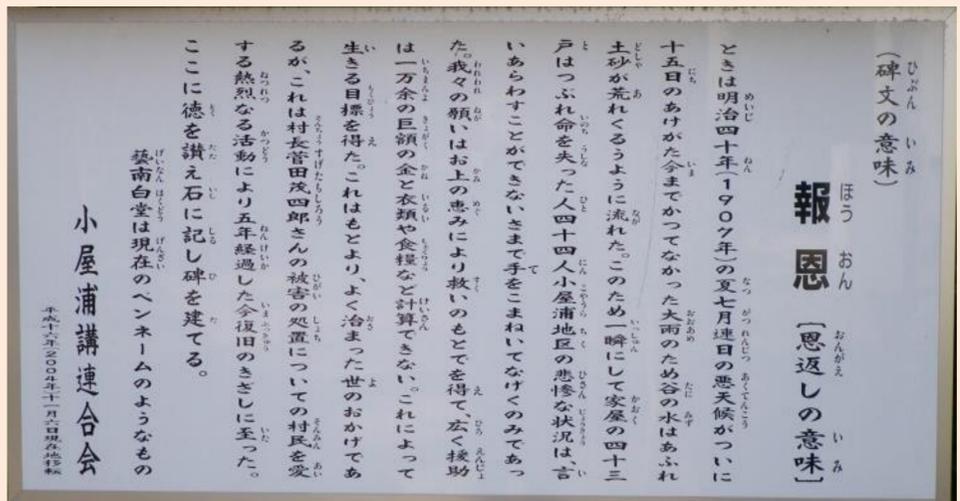
小屋浦の被害状況



二本松

「坂町の史跡と伝承文化」より引用

天地川 「水害碑」(左) 「報恩」の石碑(右)



■天地川上流の砂防堰堤



昭和25年建設: 堤高H=11.5m, 堤長L=50.0m

地域の砂防情報アーカイブ

坂町の登録情報

■位置図



■概要

明治40年(1907)7月15日午前5時ころ、数日来降り続いた豪雨により総頭川が決壊し、死者2名、家屋流失11棟、田畑も流失するという大災害が発生しました。同日未明には、小屋浦で天地川の堤防決壊、土石流発生という災害が発生しています。この天災の惨状を後世に伝えるとともに、治山治水の教訓とするため、この石碑が建立されています。

所在地：安芸郡坂町坂東2丁目 坂八幡宮内

■総頭川上流の砂防堰堤



昭和12年頃建設
堤高H=6.5m, 堤長L=25.0m



水害碑【総頭川】 全面(左), 背面(右) 提供:広島県

■地域の防災活動

坂町では土砂災害等を想定して、平成23年度より避難訓練を実施しています。第1回目は平成23年9月23日(金・祝)に大雨による土砂災害を想定し、坂町と坂町住民福祉連絡協議会、坂町消防団等と合同で避難訓練を実施し、約2,750人が参加しました。避難場所の確認や避難経路を地域住民とともに検証し、よりよい避難方法を身につけることにより、安心・安全なまちづくりに資することを目的としています。



【横浜地区】 提供:坂町



【横浜小学校】 提供:坂町



【町民体育館】 提供:坂町